



2月9日(金)

初めての雪に大興奮

〜沖縄県読谷村・伯耆町教育交流〜

沖

沖縄県読谷村の渡慶次地区から、15人の交流団が2月9日(金)から2月11日(日)までの間伯耆町を訪問しました。

今回の教育交流では、スキー交流、文化交流、民泊などを行いました。特にスキー交流では、沖縄の子も達は初めて体験する雪遊びに興奮した様子で、なんども雪に触れたり、雪に飛び込んだりしていました。

伯耆町の民泊家庭では、伯耆町の良さを知ってもらおうと、それぞれの家庭であたたかく出迎えました。交流をとおして、夏に築いた友情をより一層深めることができました。



▲初めてのスキーに挑戦

2月24日(土)

郷土の歴史を知るまつり

〜第34回たたらまつり開催〜

部地区恒例の「たたらまつり」が2月24日(土)から2月26日(月)、二部公民館で

開催され、多くの人で賑わいました。会場では、二部地区の農産物と加工品の販売が行われたほか、地元の野菜をふんだんに使ったきのこ汁や、ぜんざいが振る舞われました。また、作品展も行われ、公民館教室や同好会の絵手紙や生け花、地域住民の手工芸品などが会場いっぱい並べられました。



▲力作ぞろいの作品展

なかでも来場者の目を引いていたのは、特別展「日本の文化「和装」」です。たたらまつりは、郷土の歴史をテーマに、毎年趣向を凝らした特別展示を行っており、これを楽しみに足を運ぶ人も多くいます。今回は、大正時代の花嫁衣裳や子ども用の晴着、帯などが展示され、日本文化を代表する「和装」の良さを見直す特別展となりました。訪れた人たちは、きれいな着物や帯などを熱心に鑑賞していました。

3月3日(土)

しいたけ植菌で

農業の理解を深める

〜しいたけ植菌体験〜

植

菌体験をとおして、農業への理解を深める「しいたけ植菌体験」が3月3日(土)、二部公民館で開催されました。

今回は、二部小学校の児童、保護者ら33人が参加し、日本のこセンターの職員から、しいたけができるまでの解説を聞いた後、原木に開けられた穴に、しいたけの菌を固めた「種ごま」を一つひとつ丁寧に植えていきました。

この日植えたしいたけは、来年の2月ごろに収穫できる予定です。参加した子どもたちは、「おいしいしいたけができるように願いながら植えました」「収穫できる日が待ち遠しいです」など話しました。



▲参加者全員で種ごまを植えます



▲しいたけができるまでの解説を聞きます

